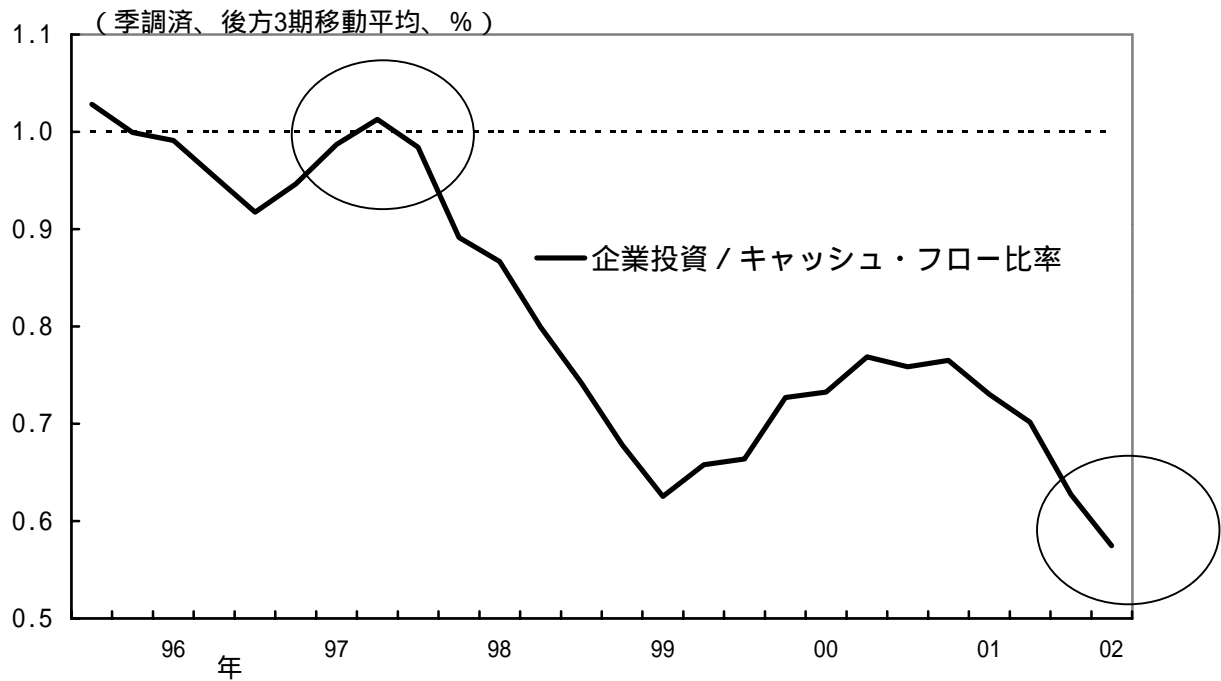
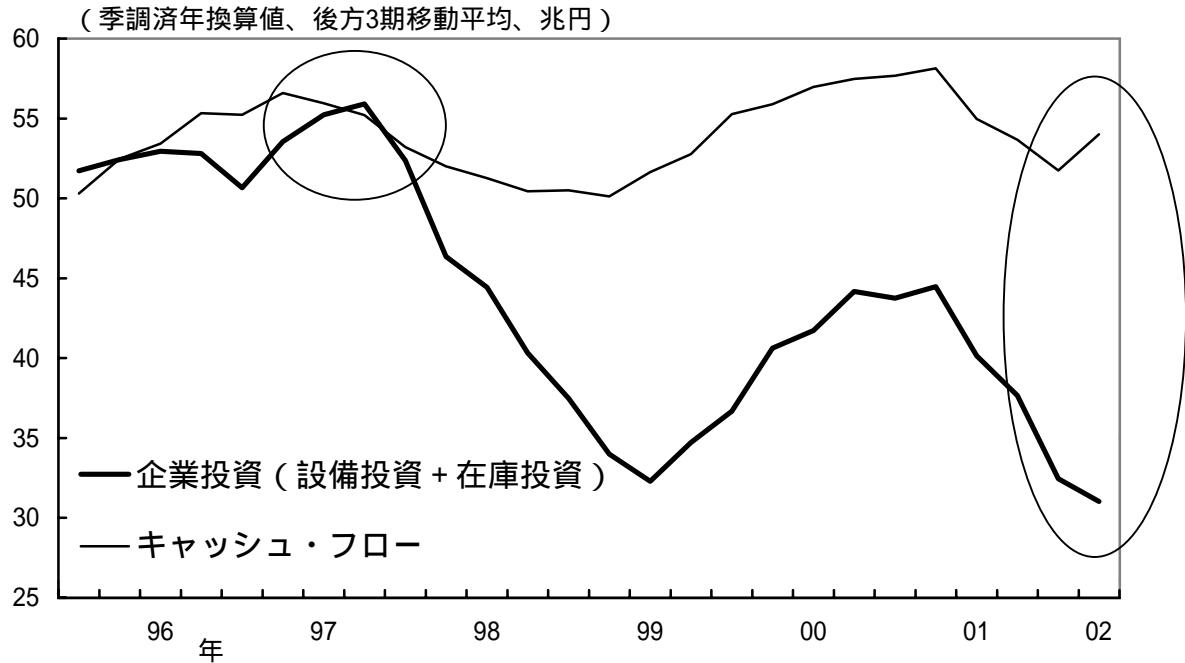


(図表1) 企業の貯蓄投資バランス



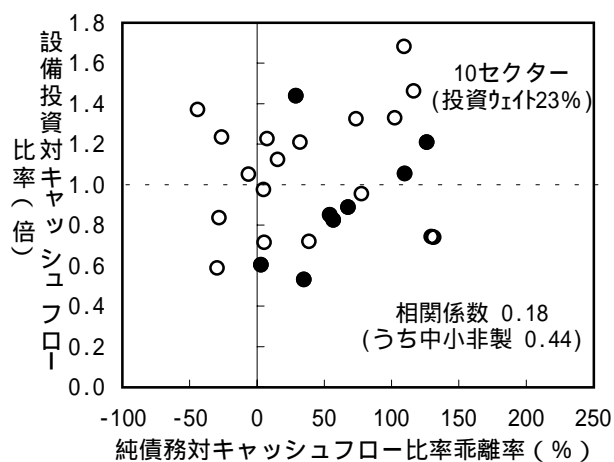
(注) キャッシュ・フローは、「経常利益/2 + 減価償却費」。計数は断層修正済み。

(資料) 財務省「法人企業統計季報」、日本銀行「貸出・資金吸収動向等」

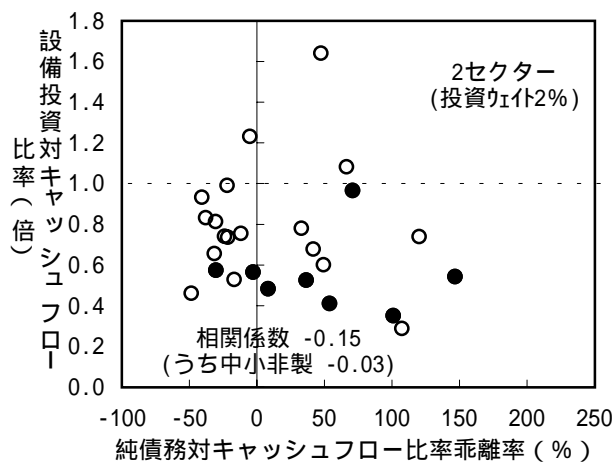
## (図表2) 設備投資環境の金融システム不安発生時との比較

### 債務比率および投資比率

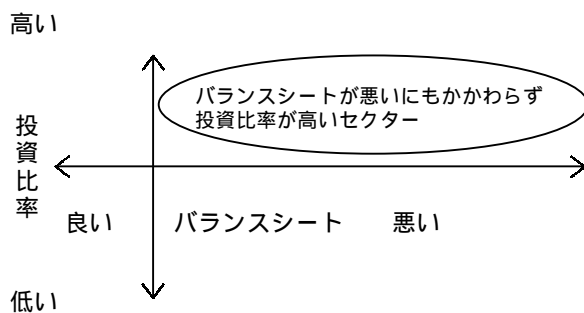
(1997年末)



(2002年6月末)



(グラフの見方)



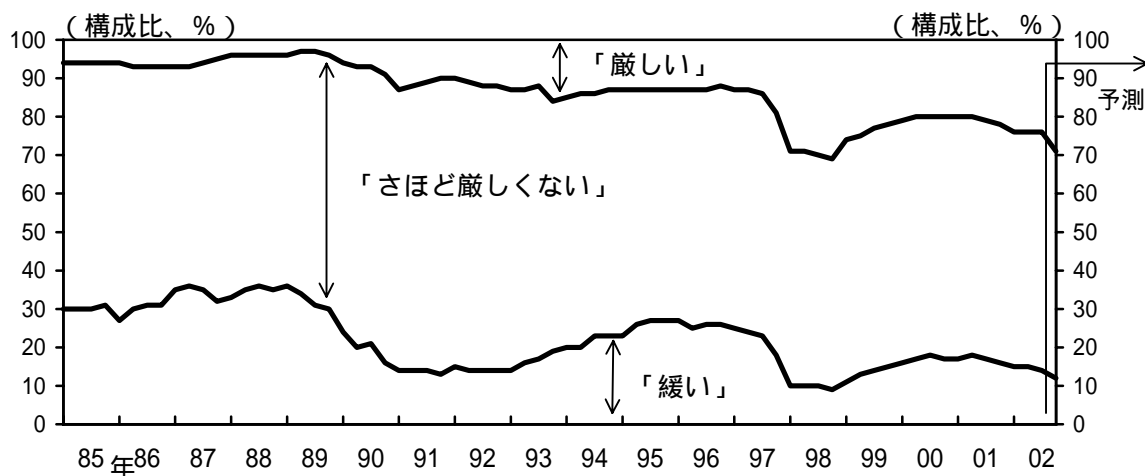
(注) 1. は中小非製を指す。

2. 純債務は、「(長短借入金 + 社債 + 割引手形) - 現預金」。乖離率は、80～85年度平均からの乖離。

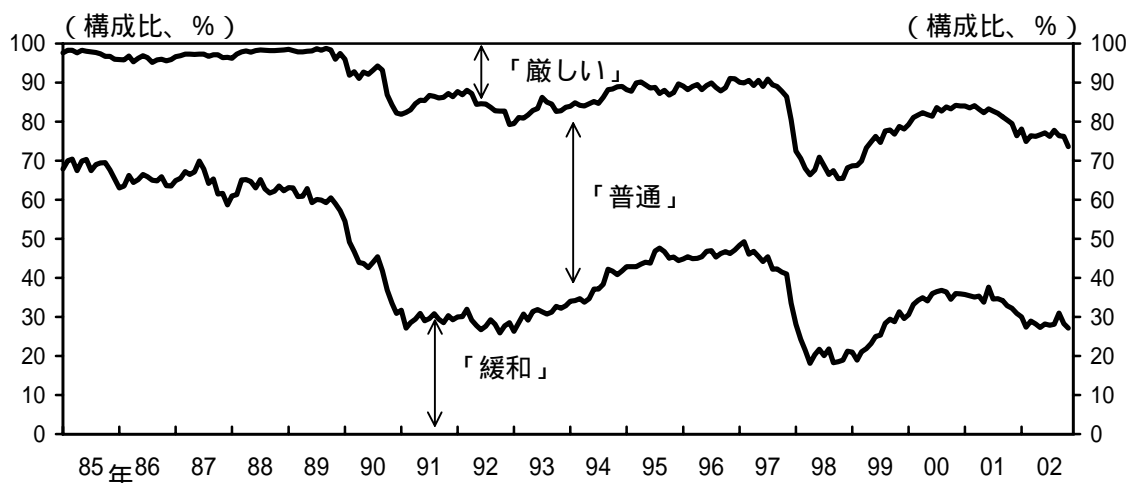
(資料) 財務省「法人企業統計季報」

# ( 図表 3 - 1 ) 中小企業からみた金融機関の貸出態度 ( 1 )

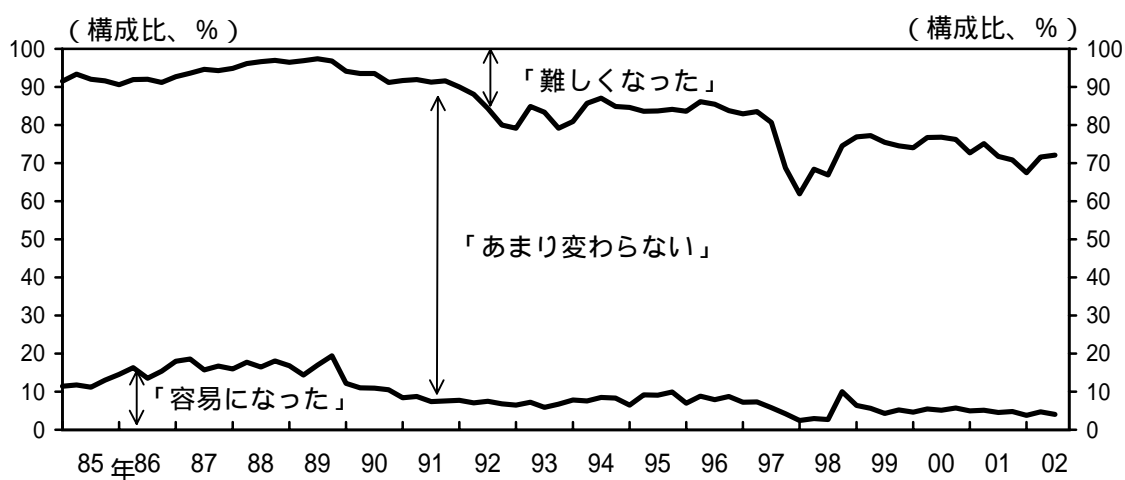
( 1 ) 日本銀行・企業短期経済観測調査 ( 直近調査時点9月 )



( 2 ) 中小企業金融公庫・中小企業景況調査 ( 直近調査時点11月中旬 )



( 3 ) 国民生活金融公庫・全国小企業動向調査 ( 直近調査時点9月中旬 )



( 資料 ) 日本銀行「企業短期経済観測調査」、中小企業金融公庫「中小企業景況調査」、国民生活金融公庫「全国小企業動向調査」

## ( 図表 3 - 2 ) 中小企業からみた金融機関の貸出態度 ( 2 )

### ( 1 ) 中小公庫 ( 直近調査時点11月中旬 )

( %ポイント )

	01/3Q	4Q	02/1Q	2Q	3Q	10月	11月
貸出態度 D I	16.5	10.8	5.2	4.5	5.8	4.5	0.7
「 厳しい 」 割合	18.0	21.2	23.5	23.4	23.2	23.8	26.4
資金繰り D I	-18.8	-21.7	-25.9	-22.7	-20.9	-18.1	-21.8

( 注 ) 貸出態度 D I = 「 緩和 」 - 「 厳しい 」、企業割合。

資金繰り D I = 「 余裕 」 - 「 窮屈 」、企業割合。

### ( 2 ) 国民公庫 ( 直近調査時点9月中旬 )

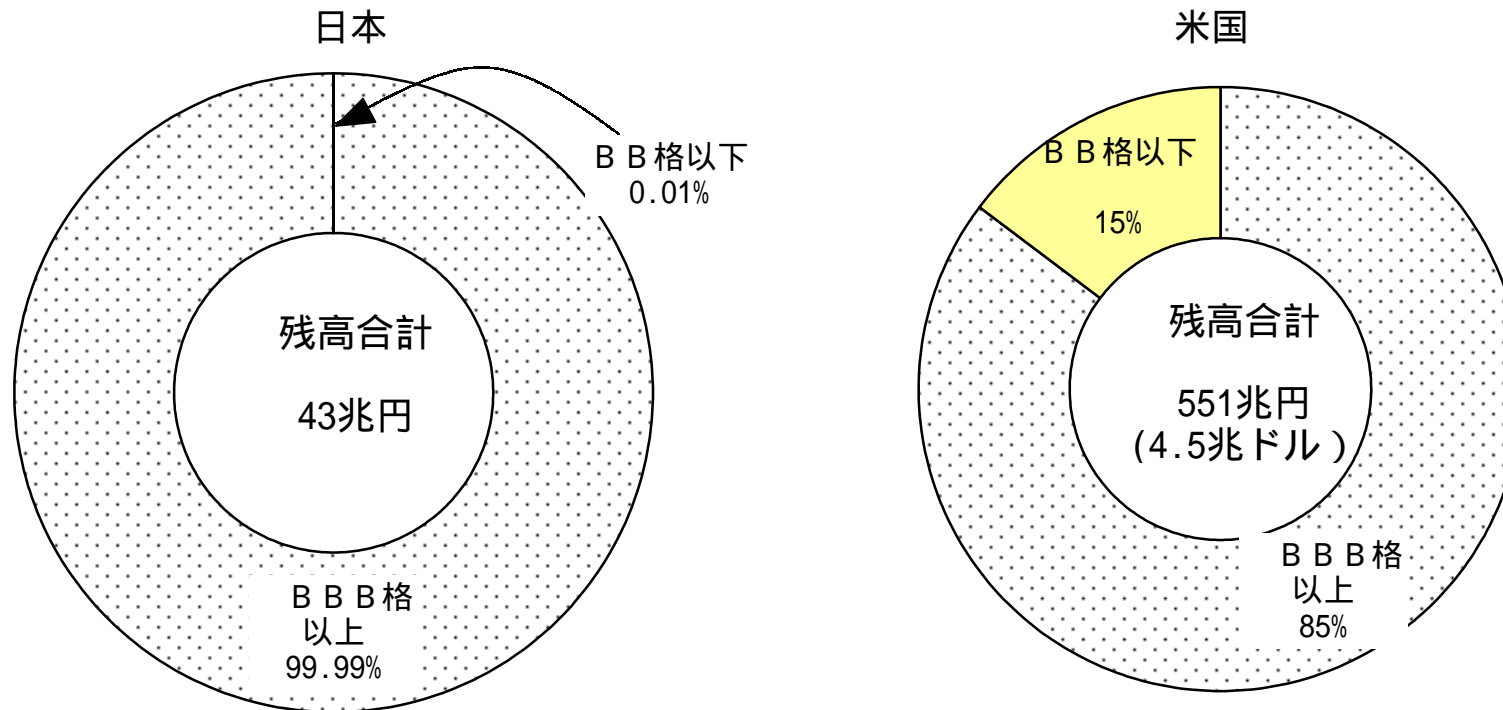
( %ポイント )

	01/3Q	4Q	02/1Q	2Q	3Q
借入 D I	-23.7	-24.4	-28.7	-23.7	-23.9
「 困難になった 」 割合	28.2	29.2	32.5	28.4	27.9
資金繰り D I	-36.8	-37.1	-39.5	-29.5	-34.7

( 注 ) 借入 D I = 「 容易になった 」 - 「 困難になった 」、企業割合。

資金繰り D I = 「 好転 」 - 「 悪化 」、企業割合。

( 図表 4 ) 投資格付け別にみた日米社債市場残高



- ( 注 )
1. 日米とも02/10月末時点の残高。格付は起債時の格付、日本はR&I、米はMoody'sによる。
  2. 日本分は政府関連債、ABSを、米国分は政府関連債、転換社債を除く。
  3. 上記の他、格付を付与していない残高が日本は10兆円、米国は319兆円ある。

( 出所 ) アイ・エヌ情報センター ( 日本分 ) 、 Thomson Financial ( 米国分 )

（図表5） 売掛債権証券化のスキーム（イメージ図）

